

# 令和3年度 ライブラリー講演会

放送大学教授等による講演会を開催します。各分野の最新の話題を聞くことができるまたとない機会です。ぜひ御参加ください。

期 日	テ ー マ	講 師	会 場	内 容
2021年 4月17日 (土)	エーリヒ・ケストナーの後半生と「小人」の物語	放送大学茨城学習センター所長 茨城大学名誉教授  佐藤 和夫	茨城県立図書館  視聴覚ホール	ドイツの作家、エーリヒ・ケストナーは彼の若い頃の作品、『エーミールと探偵たち』や『飛ぶ教室』で知られていますが、彼の後半生に当たる第二次世界大戦後作家としてばかりでなく、ドイツ文化の再建にも貢献しています。今回はケストナーの公的な活躍や私的なエピソードも交えながら彼のそれまでの子ども向けの作品を大きく転換した「小人」の物語を中心に話します。
5月15日 (土)	表現する 心に届く歌をどうやって歌うか	放送大学茨城学習センター客員教授 茨城大学教育学部教授  谷川 佳幸	茨城県立図書館  視聴覚ホール	心を込めて歌えば、相手に気持ちが伝わるものでしょうか。音楽で感じたことを聴衆に的確に伝えるよう表現することは、なかなか難しく、気持ちで処理できる問題ではなさそうです。どのように呼吸をするのか、音量をどうやって調整するのか、言葉のさばき方はどうなのか、オペラ歌手の歌唱法を例にしながら、どのような技術を使っているかに自然であるように聞かせ、説得力のある歌唱をするかなど解説します。
6月19日 (土)	あなたにとっての生きがいとは何ですか？ —人生100年時代 自分らしく過ごす—	放送大学茨城学習センター客員教授 茨城キリスト教大学教授  辻 容子	茨城県立図書館  視聴覚ホール	年齢を重ねていく中で、自分らしい生活を過ごすためにできることは何でしょうか。日常生活の中には日々あたり前に過ごしていることが生きがいにつながっていることも多いとされています。生活を高めるために「役割」を担うことや、「仕事」をすること、「社会活動」に参加すること、「余暇」を楽しむことなどが日常生活から得られる「生きがい」であるとの調査などを紹介します。日常生活の中で、心豊かに過ごすためにできることを一緒に考えてみましょう。
8月21日 (土)	近代日本の石炭開発と労務制度 —幕末から昭和初期にかけて—	茨城大学主学教育機構教授  金 光男	茨城県立図書館  視聴覚ホール	幕末に蒸気船燃料として石炭の大量需要が生まれ、それまで瀬戸内塩田用の炭料として採掘していた石炭が生糸や茶と共に主要輸出品品になりました。こうして石炭産業は明治維新から日清・日露戦争の頃にかけて産業革命を牽引し、昭和初期に至る軍事優先の工業化に燃料と素材を提供してきました。この石炭産業を支えてきたのは坑夫たちの労働でした。講演では石炭開発小史を坑夫たちの労働条件や生活環境を軸に振り返り話を進めていきます。
9月18日 (土)	北畠親房と常陸国	放送大学教授(人間と文化コース) 前原図書館長 東京大学名誉教授  近藤 成一	茨城県立図書館  視聴覚ホール	北畠親房(1293-1354)は南北朝時代に南朝を支えた廷臣ですが、1338年から43年にかけての5年間、常陸国内を滞りながら東国の武士を南朝の味方につける工作を行っていました。『神皇正統記』を著したのもその間のことです。親房が遺した書状等を読み解きながら、親房の思想と行動を考えてみたいと思います。
10月16日 (土)	江戸幕府撰国絵図・日本図の世界	放送大学茨城学習センター客員教授 茨城大学教育学部教授  小野寺 淳	茨城県立図書館  視聴覚ホール	江戸幕府は諸大名に国ごとの地図を作成させ、これをもとにした日本図を作成し、国の国土を把握した。これを江戸幕府国絵図編纂事業といいます。この事業は数多くの多種多様な地図の作成を促し、明治期以降の地図の近代化を容易にしました。長久保赤水、伊能忠敬、間宮林蔵、シーボルトなどのエピソードを絡めて、江戸幕府撰・国絵図の意義を交えて解説します。
11月7日 (日)	ミヒャエル・エンデの貨幣観	岩手大学人文社会科学部准教授  川村 和宏	茨城県立図書館  視聴覚ホール	映画『ネバーエンディング・ストーリー』の原作となった『はてしない物語』や『モモ』といった児童文学を描いた作家として日本でも知られるドイツの作家ミヒャエル・エンデは晩年貨幣の問題に取り組んでいました。この講演会ではエンデの手紙を参考にしながら、その作品に描き込まれた貨幣観について考えます。エンデやゲーテの作品にも目を向けつつ、貨幣と富や欲望といった問題について考えてみましょう。
12月18日 (土)	ソクラテスとヒューマンイズム	放送大学茨城学習センター客員教授 茨城大学名誉教授  渡邊 邦夫	茨城県立図書館  視聴覚ホール	ソクラテスは「良心の人」とされますが、現代の哲学者ゲーテはプラトン『エウテュプロン』から、ソクラテスは人間の人格のために頑張ったある同時代の若い人の考えを、頑迷な老人の身分差別的偏見に基づいて、脆弁的議論で論駁した人にすぎないと言います。ゲーテは興味深い説を述べています。しかしソクラテスは若い人と対照的に、難しい局面で万人のために実際に動く方法を知っていました。したがってかれこそ人類規模のヒューマンイズム確立の貢献者だということを示明します。
2022年 2月19日 (土)	カウンセリングは、判断とは無縁な絶対的受容から始まる	放送大学茨城学習センター客員教授 茨城キリスト教大学生活科学部特任教授  渡邊 孝憲	茨城県立図書館  視聴覚ホール	カウンセリングによって、来談者が抱えている問題は解決するのでしょうか。解決するとすればどのようにしてなのでしょう。私はカウンセラーが来談者の話を批判・非難・否定せずに、また同意や賛同もせずに、まずは絶対的に受容することから始まると考えています。それは、来談者の言っていることが正しいか間違っているかを判断することも全く無縁なことです。そういうものがわずかで頭を出すとき、カウンセリングは百言あって一利なしとなります。
3月12日 (土)	果樹の品種改良によるブランド力の強化	放送大学茨城学習センター客員教授 茨城大学農学部教授  井上 栄一	茨城県立図書館  視聴覚ホール	ぶどう「シャインマスカット」など、日本の果樹品種の多くは国や県などの公的機関によって品種改良が進められています。従来の品種改良では生産性の向上に主眼が置かれていましたが、最近は消費者に訴求する果実の品質や利用特性などの改良も積極的に進められており、商品としてのブランド力や国際競争力の向上に寄与しています。本講演では、身近な果樹の品種改良の背景と最新の成果についてわかりやすく説明します。

※都合により日程・会場・内容等が変更になる場合があります。

時間 14:00 ~ 16:00  
会場 茨城県立図書館 視聴覚ホール



主催	放送大学茨城学習センター	茨城県立図書館
お問い合わせ	水戸市文京2-1-1 茨城大学水戸キャンパス内	水戸市三の丸1-5-38
	tel:029-228-0683	tel:029-221-5569